

# 「二枚橋建替え方針」で行き詰まるゴミ問題

2009年11月1日(日)  
日本共産党・板倉真也

小金井市は2017年度から国分寺市と共同でゴミ処理施設を稼働させる計画を立て、共同で使用する処理施設の建設場所を「二枚橋焼却場用地」にしようとしている。しかし、隣接する調布市と府中市の了解は依然として得られず、逆に、現在ゴミ処理をお願いしている施設からは「約束どおり、2010年3月までに新しい処理施設の建設場所を決めること」と詰められている。しかし、先行きはまったく見えていない。方向転換すべき時期はすでに来ているのだが。

## この間の経過

- 2004年5月…… 二枚橋終了にあわせて、小金井市のゴミを国分寺市の焼却施設に受け入れてもらえるよう、小金井市が国分寺市に要請。その際「将来の焼却場建設を含めて、可燃ゴミを共同処理することについて協議したい」と伝える。
- 2004年11月…… 二枚橋組合議会で、将来の燃やすゴミの焼却処理体制を検討し、以下が了承される。
- ▷調布市は三鷹市と共同処理する
  - ▷府中市は二枚橋以外で一括処理する
  - ▷小金井市は新たな団体と共同処理する方策をすすめる
  - ▷2009年度までに二枚橋施設を終了する
- 2005年6月28日 国分寺市役所内部の会議で「小金井市のゴミの全量受入れ不可能」が報告される。
- 2005年7月…… 二枚橋組合議会で、以下が了承される。
- ▷焼却炉の廃止は2007年3月
  - ▷組合の解散は適切な時期とする
  - ▷組合の財産は小金井・調布・府中で3分の1ずつとする
  - ▷組合解散までのゴミ処理は組合が行なう
- 2005年11月…… 国分寺市の焼却施設では、小金井市のゴミ量が1/3しか対応できないことを、小金井市が知る。
- 2006年5月1日 小金井市が国分寺市から「全量受入れは不可能」との正式回答を受ける。
- 2006年6月6日 日本共産党・関根優司議員が「国分寺市の焼却施設では1/3しか処理できない」と指摘。小金井市も認める。
- 2006年8月18日 小金井市が国分寺市と「覚書」を結ぶ。
- ▷可燃ゴミの共同処理に向けて、2007年2月までに新焼却場（2017年度稼働予定）の建設場所に関することおよび建設へのスケジュールを含めて、一定の方向を国分寺市に示すものとする
- 2006年10月1日 国分寺市の焼却場へ、可燃ゴミの搬入を開始。
- 2006年11月6日 新焼却施設建設候補地案を検討するための市役所内部の委員会がスタート。
- ▷10月31日の市議会全員協議会に「新焼却施設建設スケジュール案」が提案され、「2009年2月に新焼却施設の建設場所を決定」が示される
- 2007年1月11日 小金井市が国分寺市に対して、新焼却施設の建設候補地案2箇所を提示。
- 2007年1月18日 小金井市が国分寺市と第二弾の「覚書」を結ぶ。
- ▷小金井市からの可燃ゴミ受け入れ量は年間6,000トン以内
  - ▷受入れ焼却費用は、トンあたり4万2千円(現行2万8,200円)
  - ▷受入れ期間は当面、2008年8月末まで。それ以降は、新焼却施設建設に向けた小金井市の協議状況を見て判断する
- 2007年3月末 二枚橋焼却場が50年の歴史に幕を下ろす
- 2007年4月…… 小金井市が「市民検討委員会」委員を公募。国分寺市以外の焼却場へも、可燃ゴミの搬入を開始。
- 2007年6月10日 「市民検討委員会」がスタート
- 2008年6月28日 「市民検討委員会」が新ゴミ処理施設建設用地の候補地に「二枚橋焼却場用地」を答申
- 2008年7月2日 「『二枚橋』は期限を区切って、調布・府中と交渉を」。市議会全員協議会で共産党市議団が主張
- 2009年2月…… 新焼却施設の建設場所決定ができず、小金井市は「2009年度中(2010年3月末まで)に決定する」と述べ、1年間の先送りを表明。国分寺市など、小金井市のゴミを焼却している自治体は「2009年度中に決定」を最終条件として4月からの受入れを表明。

### 二枚橋焼却場用地の面積

総面積	11,502㎡
小金井市地域	4,199㎡(36.5%)
調布市地域	5,307㎡(46.1%)
府中市地域	1,996㎡(17.4%)

## 現在の到達状況

### ■「二枚橋」をゴミ処理施設の建設場所にするためには、土地利用の権利をもつ調布市と府中市の協力が必要

小金井市が固執する「二枚橋焼却場用地」は、小金井市と調布市、府中市の3つの市に敷地がまたがっており、土地を使用するためには、調布市と府中市の合意が必要となる。しかし、調布市は一貫して「反対」の態度を示している。稲葉市長は、建設場所の候補地を検討してきた「市民検討委員会」に対して、調布市や府中市との「交渉の余地はある」と述べてきたが、まったく偽りだったことは、今日の事態が証明している。

■「2010年3月末までにゴミ処理施設建設場所を決定する」の期限は目前に迫っている  
 来年3月末までに決定するためには、おおよそ以下の手続きが必要となる。

**「二枚橋」に小金井市がゴミ処理施設を建てるための手順概要**

- (1)二枚橋焼却場敷地内の構成自治体(小金井・調布・府中)が所有する土地を、いったん二枚橋組合所有の土地にする。
- (2)二枚橋組合所有となった土地を3等分し、構成自治体に譲渡する(財産分割)。
- (3)二枚橋組合を解散。小金井市が建物解体および汚染土壌除去の事務を引き継ぐ。
- (4)小金井市が調布市と府中市から、3等分された土地を購入する、または借り受けるための了解を取り付ける。
- (5)小金井市と国分寺市のゴミ処理施設の建設場所に決定される。

■「2010年3月末までにゴミ処理施設建設場所を決定する」は事実上不可能

**到達状況**

第1段階 / [現在、進行中]

- (1)二枚橋焼却場敷地内の構成自治体が所有する土地を、いったん二枚橋組合所有の土地にする。  
 調布市が「市道」を所有。9月議会で市道廃止を議決。現在、市民への公示期間中(～11月18日)。  
 小金井市は「赤道」を所有。面積が小さいため、議会議決案件にはならない。11月18日以降に小金井市の手続きに入る。

第2段階 / [これから協議される]

- (2)二枚橋組合所有となった土地を3等分し、構成自治体に譲渡する(財産分割)。  
 11月9日の二枚橋組合議会に3等分の案件が出される予定。ただし、案件が了承されるかどうかは未定。
- (3)二枚橋組合を解散。小金井市が建物解体および汚染土壌除去の事務を引き継ぐ。  
 土地の3等分譲渡案件が二枚橋組合議会で了解されなければ、組合解散も了解されない。

最終段階 / [先行き見えず]

- (4)小金井市が調布市と府中市から、3等分された土地を購入する、または借り受けるための了解を取り付ける。
- (5)小金井市と国分寺市のゴミ処理施設の建設場所に決定される。

■調布市・府中市には「二枚橋」を了解できない理由がある

過去に「二枚橋焼却場の建替え計画」があったが小金井市の都合で実現せず、調布市・府中市は別の場所でのゴミ処理に移らざるを得なくなった。なのに小金井市は、国分寺市と共同のゴミ処理施設を二枚橋に建てようとしている。「それはないだろう」というのが実際。 ※調布市は三鷹市と共同のゴミ処理施設の建設に着手。府中市は多摩川衛生組合に加入して処理。

小金井市の燃やすゴミの処理状況(2009年度)

支援先	受け入れ期間	処理経費 /トン単価	受け入れ 契約量	9月末まで の搬入実績	備 考
八王子市	4月1日～来年3月末 (6月を除く)	4万円	3,100トン	1,340トン	
昭島市	4月1日～来年3月末	4万8千円	1,700トン	1,200トン	
国分寺市	4月10日～来年3月末	4万2千円	4,000トン	1,938トン	
多摩川衛生組合	4月25日～来年3月末	4万8千円	2,000トン	1,126トン	土曜日のみ搬入 (稲城市・狛江市・府中市・国立市で構成)
日野市	6月1日～来年3月末	4万5千円	2,250トン	756トン	
三鷹市	7月20日～9月18日	4万2千円	1,000トン	789トン	
合 計			14,050トン	7,149トン	

▷小金井市の昨年度の燃やすゴミの焼却処理量

家庭系ゴミ 14,180.7トン

事業系ゴミ 1,903.7トン

計 16,084.4トン

44.1トン/1日平均

— 2,000トンの処理先が未定状態

■市長を応援する議員から「他の処理施設に」の発言飛び出す

8月5日の市議会特別委員会で日本共産党が、「二枚橋焼却場用地」を建設場所にするための手順をくわしく問いただして行ったところ、市長を応援してきた武井正明議員(社民党)が次のような発言を行なった。「12月議会で一定の見通しがつかなかったら万事休す。その場合は、他の処理施設に仲間入りをして参集することも考えていくべき」。つまり、すでに他市で稼働してい

る焼却施設の管理運営団体に仲間入りをして、今後はそこでゴミ処理をしていこう、というもの。ついに市長応援団からも見切りをつけられる状況になってきている。

「2010年3月末までに建設場所決定」の約束が守れない事態が誰の目にも明らかとなってきた今日、来年4月からのゴミ処理の対応は急務となっている。日本共産党市議団は、武井議員の主張は検討に値するものと受け止めており、12月議会に向けて、ゴミ減量の取り組み推進とともに、来年4月からのゴミ処理に支障が起きないように対応策を練っているところ。

■「二枚橋」に決定できない場合、市長の責任問題に発展する可能性も

稲葉市長の責任問題／

▷市民検討委員会との関係／市民検討委員会では、二枚橋焼却場用地を建設候補地にすることに様々な意見があった。しかし「調布市・府中市との交渉の余地がある」の市長の言明をよりどころに、市民検討委員会は反対の声を押し切って、賛成多数で「二枚橋を建設場所の候補地にする」との答申を下した。しかも、答申を下した後、二枚橋焼却場用地の南側の東八道路をはさんだ府中市区域に、保育園と高齢者施設が建つことが明らかとなった。小金井市は、そのことをいっさい話さず、ひたすら「二枚橋」に結論がいくように導いた。そこまでやられながら「二枚橋」で決まらなければ、市民検討委員会のメンバーは市長不信にならざるをえない。

▷議会与党との関係／市長を応援してきた市長与党はひたすら、市長の「二枚橋に建てる」を指示し、日本共産党の「方針を転換せよ」の主張に対して、市議選の最中もあくどい攻撃をし続けてきた。しかし、市議選では市長応援の現職3人の議員が落選し、市長与党は大打撃を受ける結果となった。「二枚橋はダメでした」では、市長与党は振り上げた拳の下ろす場がなくなってしまう。当然に、日本共産党の側は「我々の見方は正しかった」となるであろう。

▷国分寺市との関係／国分寺市は、2004年5月の小金井市からの申し入れを受けて、小金井市のゴミの受け入れを2006年10月から行なっている。その際、小金井市は「小金井市の責任で、ゴミ処理施設の建設場所を決定する」と約束している。しかし、その約束が守れないとなると、国分寺市も大変なことになる。第一に「将来、小金井市域に共同のゴミ処理施設を建てるので、それまでの間、小金井市のゴミを受け入れてくれ」と、国分寺市は焼却場周辺の住民を説得してきたことから。第二に、国分寺市の焼却施設の寿命が迫り、2017年度の共同処理施設の稼働がダメになった場合、国分寺市自身がゴミ処理に支障をきたすことになるため。第三に、小金井市との共同処理だけを念頭に入れ、国分寺市は他の自治体との共同処理の道を断ち切ってきたため。国分寺市も窮地に陥ることになる。当然に、国分寺市長の責任問題にも発展しかねない。

◎燃やすゴミの経費（歳出）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
収集・運搬経費	1億7,010万円	1億7,922万2,400円	2億7,281万5,200円	2億7,293万5,200円	2億8,374万円
処理経費	4億2,567万5,000円	3億9,872万4,724円	7億4,262万2,985円	7億2,469万2,824円	8億7,620万7,000円
合計	5億9,577万5,000円	5億7,794万7,124円	10億1,543万8,185円	9億9,762万8,024円	11億5,994万7,000円

※2009年度は予算

◎ゴミ処理手数料（歳入）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
処理手数料収入	3億9,703万8,168円	4億5,108万9,090円	4億3,354万4,814円	4億3,431万1,562円	4億8,259万1,000円

家庭系の有料ゴミ袋(可燃・不燃)、事業系の有料ゴミ袋(可燃・不燃)および粗大ゴミ・直接持ち込みの手数料収入

※2009年度は予算

◎歳入と歳出の差

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
	▲1億9,873万6,832円	▲1億2,685万8,034円	▲5億8,189万3,371円	▲5億6,331万6,462円	▲6億7,735万6,000円

※2009年度は予算



以上。